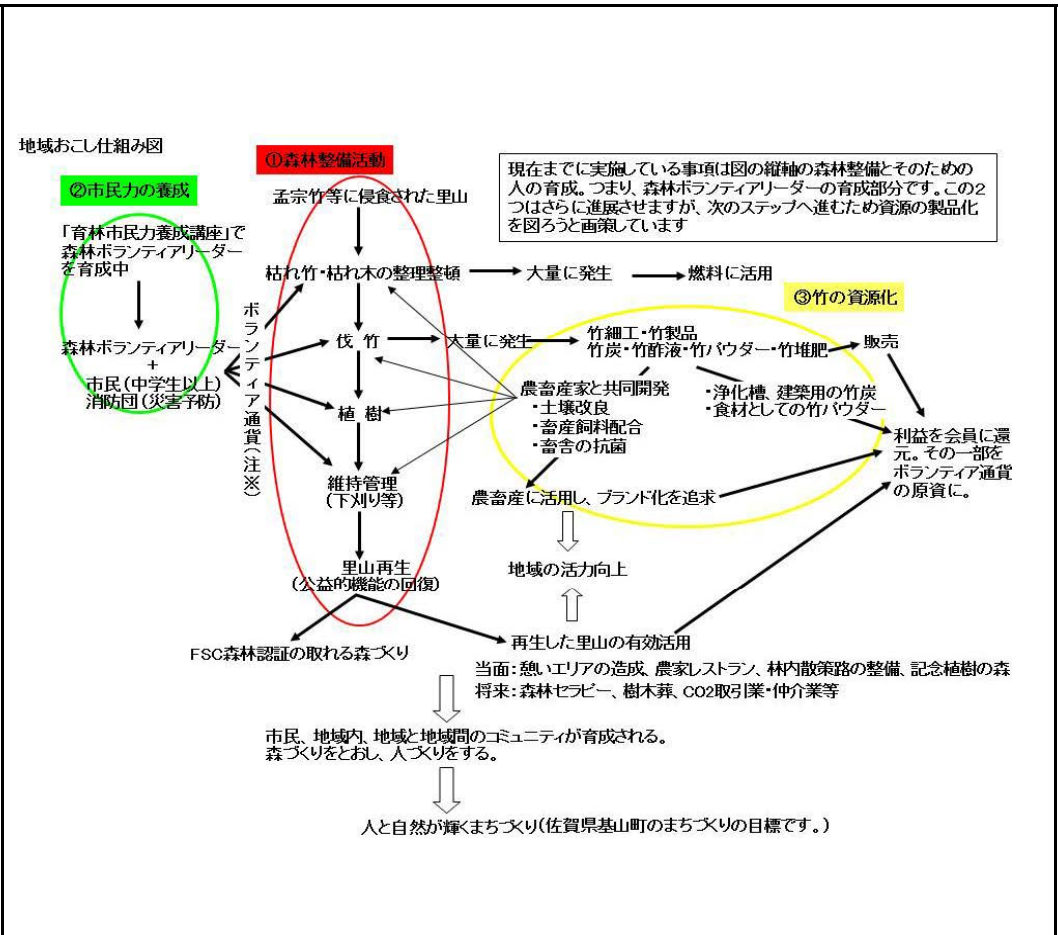


里地里山の保全・活用の取組における課題と技術的方策等

分類	地域活性化／特産品開発(ブランド創出・販売促進型)
手法名	里山保全活動によって伐り出した竹の資源化
主体	NPO法人かいろう基山
背景(地域の課題)	<p>佐賀県基山町では、森林を侵食するモウソウチクの拡大が深刻となっている。里山保全のために伐採することが求められるが、保全整備活動によって生じる大量の伐採竹をどのように処理するかも大きな課題となっている。</p>
手法／方策の詳細	<p>里山保全のため、侵入竹林を伐採すると共に、伐採竹を多面的に活用し、活動を継続させていくための資金源としていく。そのために竹のもつ7つの力と5つの顧客層(売込先)を整理(図参照)し、竹の資源化を図っている。</p> <p>1)竹炭づくりと建築材等への利用 浄化槽や建築用の竹炭をつくり利用。</p> <p>2)竹パウダー利用した農畜製品のブランド化 竹パウダー製造機を導入。竹パウダー及び竹パウダーで作る植物性乳酸菌液の開発と畜産利用を行う。農畜産家と共同して土壌改良、畜産飼料配合、畜舎の抗菌材として利用し、ブランド化を追求している。</p> <p>3)竹パウダーの健康食品開発と女性層などへの普及啓発 “竹パウダーで作る植物性乳酸菌液で人も動物も元気に、特に女性の美と健康！”と銘うち、今話題の植物性乳酸菌液が手軽に作れて、それを使った豆乳ヨーグルトの作り方等主婦を対象とした教室を開催して、“人も環境もきれいに！”することを展開</p> <p>4)その他 以上の他、竹堆肥、竹酢液、竹細工・竹製品など多様な側面から活用することで、保全活動で生じる大量の竹の処理を促進。また、枯れ竹など製品的利用が図れないものについても、燃料等に利用することを検討している。</p>
手法・技術的視点	<p>竹の多面的な機能に着目して、様々な活用方法を追求。畜産農家など他分野・産業とも連携しながら、効果的な資源化を図っている点で着目される。</p>

実行プロセス・運営体制のイメージ



図・写真資料

図: 竹の活用方法と売り込み先

顧客	ニーズ	「竹」の7つの力							商品	販路
		浄化	消臭	抗菌	殺菌	調湿	燃焼	食材		
畜産 養豚・牛・鶏	臭い、病気 (肉質等)	○	○					○	配合飼料竹パウダー、 糞尿処理用竹炭・竹パウダー、 バイオ消臭剤	
活動地区	安全で、おいしい 野菜を食べる							○	土壌改良用竹パウダー、 バイオ消臭剤	
有機栽培	無農薬、更においしく			○	○			○	同上+竹炭	
ハウス栽培	調温、調湿					○	○	○	同上+ハウス用竹炭	
バイオトイレ	臭い、 糞尿処理	○	○						バイオ消臭剤 糞尿処理用竹パウダー	
住宅、建築、 工場	快適、環境	○	○			○			床下炭、屋根裏炭等、 植木用竹炭・竹パウダー、 浄化槽用竹炭	
主婦	美容、健康、 快適、省力	○	○	○		○		○	乳酸菌製品、バイオ消臭剤、漬物教室、生ごみコンポスト教室、商品開発教室	教室、□ コミ、イ ベント
薪燃料、 バイオ燃料	燃料費の高騰、 温暖化防止							○	竹炭・竹ペレットボイラー、 バイオ燃料研究	

※ 炭焼き教室、竹テントの作成・販売も考慮中

参考資料

平成25年度里なび研修会in佐賀県唐津市パワーポイント資料「里山保全と伐り出した竹の資源化」(NPO法人かいろう基山)